

各 位

2020年7月2日

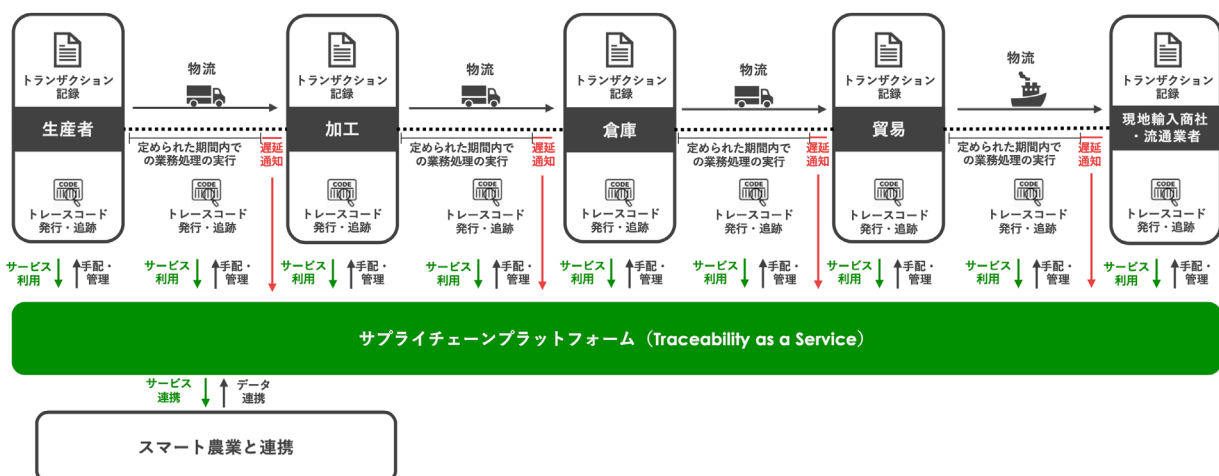
SBIホールディングス株式会社

**CTIA、百笑市場とSBIホールディングス、ブロックチェーン/分散台帳技術を活用した  
農作物のサプライチェーンプラットフォーム構築を目的に、  
米の「出荷」プロセスにおける情報共有や業務効率化にかかる実証実験を開始**

当社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝、以下「SBIH」）と、株式会社CTIA（本社：大阪府大阪市、代表取締役：手塚 満、以下「CTIA」）および株式会社百笑市場（本社：茨城県下妻市、代表取締役：染野 実、以下「百笑市場」）は、2020年7月より、ブロックチェーン/分散台帳技術を用いた「サプライチェーンプラットフォーム」を通して、百笑市場が流通させる茨城県産米の「出荷」プロセスにおける情報共有や業務効率化にかかる実証実験を開始いたします。

農作物のサプライチェーンでは、参加する生産者、卸問屋、物流、加工、倉庫、貿易、国内・輸出先小売店などの各組織に、生産、輸送や在庫計画が別々に計画・管理されていることが多く、急激な需要変化が起きた場合にサプライチェーン全体の動きに大きな負荷が掛かることや、紙やFAXなどによる非効率なオペレーションなど、様々な問題や課題を抱えています。

そこで本実証実験では、「サプライチェーンプラットフォーム」にCTIAが開発する「Traceability as a Service、以下（TaaS）」を導入することで、組織の大小を問わずサプライチェーンごとに独自のネットワークを形成して、生産、出荷、物流、保管などの計画・管理にかかわる全ての情報の共有を可能とし、組織間あるいは組織内においての担当者間で連携が必要な業務にかかる負担を大幅に軽減するなど、サプライチェーン全体の負荷を軽減することが可能となるかなどを検証します。



SBIHおよびCTIAは、本実証実験後に先ずは米の輸出にかかる「サプライチェーンプラットフォーム」を構築し、百笑市場がこれまで北米、香港、シンガポール向けに米を輸出販売することで培ってきた独自の海外での販売方法と融合させ、日本の「農業所得の向上」、「農業生産の拡大」や「地域の活性化」への貢献に寄与する“海外需要をしっかりと取り込める輸出”の追求を目指してまいります。

■ SBIホールディングス株式会社について（2020年7月2日現在）

社名 SBIホールディングス株式会社  
事業概要 株式等の保有を通じた企業グループの統括・運営等  
所在地 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー  
代表者 代表取締役社長 北尾 吉孝  
URL <https://www.sbigroup.co.jp/>

■ 株式会社CTIAについて（2020年7月2日現在）

社名 株式会社CTIA  
事業概要 ブロックチェーン事業  
所在地 大阪府大阪市中央区西心斎橋1-15-7アサノビル6F  
代表者 代表取締役 手塚 満  
URL <https://ctia.ltd/>

■ 株式会社百笑市場について（2020年7月2日現在）

社名 株式会社百笑市場  
事業概要 日本産米の輸出  
所在地 茨城県下妻市半谷514-2  
代表者 代表取締役 染野 実

以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126